

2024年度 役員研修会【グループディスカッション】報告

2024年7月6日（土）実施

2026年度連盟ビジョンへのアクションプラン及びアクティブラーダー研修会グループディスカッションを踏まえた
今後の魅力ある大会運営等のあり方について

連盟が取り組む事項						
他の人の助けが必要						
す ぐ に で き る		各チームのメンバーを増やす	ソコロボのような時間制の大会を増やす	イベント的な（その大会だけの）チーム参加OKにして参加数を増やす	若い人が出やすい（初心者）試合の 카테고리 を作る	大会日程は平日の試合開催（ママさんバレーとか）
		加盟チーム数の増加⇒まずは参加チーム数を増やす	アンテナ的な（ソコロボ）大会を増やす	地域ではしているが大阪への登録が・・・	小学校ソフトバレーは将来につながる（ケガが少ない）	大会開催会場が広範囲すぎる
		チーム同士の交流を増やす	ソコロボせ参加した個人参加への大会への声掛け	大阪へのチーム登録への壁が高い	カテゴリーの年齢の区分を変えて参加しやすくする	チームに所属せずに試合に出る人が増えている 個人登録は？
			高齢者への発信	若い人への発信 大会参加者で（楽しかったよ）SNSで発信	準加盟をまずは増やす	専用コートがない
			地域への発信（各市町村へ）	SNS・ライン・Instagramの活用（試合募集とか申込など）	総合大会開催の中で魅力を発信	大会を体験してもらう
		大阪クラブの扱い（もっと広く活用する）	種別、チームでなく混合・個人参加・その場でチーム編成	地域スポーツ・PTA・体育協会等へのアピール	現在のチーム構成員と大会カテゴリーがマッチしていない	
				他チームの人に練習参加や大会参加への声掛け	参加メンバーが必ず1セットは出れるルールの大会。（ベンチにいる人も楽しめる）	
	自分ができる					

時間がかかる

グループディスカッション総括

連盟が取り組む事項

- ・ 府内市町村で活動しているチームへの練習参加や大会参加への声掛けの仕組みと活動紹介や練習へのお誘いなどの情報共有できる場の提供を模索していく（例：連盟HPの掲示板など）
- ・ 小学生のソフトバレーボールを体験する機会充実をめざすべく小学連との協議を深める。
- ・ HPをはじめライン等のSNSによる発信の定着を検討していく。
- ・ ニーズの多様化に合わせた連盟登録システム、大会カテゴリーの検討などを行う。
- ・ 2026年までのアクションプラン（アクション1：財政再建計画 アクション2：運営組織再編計画）の具体的かつ斬新な取組を行い、目標である「連盟運営の黒字化を図り、基金に一定額の繰入ができるようにすること」「加盟チーム数の増加を図ること」「世代交代を見据えた運営組織の構築」の達成を図る。